

## 暮らすにぼっち通信の制作

高知市の魅力や暮らしに関する情報、移住に関するイベント情報などを隔月で高知市移住・定住情報誌「暮らすにぼっち通信」として発行。2ヶ月に1度の定期刊行で、自身も移住者である目線を活かし「高知市の宿泊施設」「高知市のスポット」にフォーカスを当てて紹介。



## 高知市移住者図鑑の制作

高知市への移住者のインタビューを通じて「移住した理由」や「仕事・暮らしについて」のリアルな声を紹介。移住に迷う人の背中を押すきっかけや、移住者同士の繋がりを作り出すことを目的に、Instagram上で連載。



## よさこい移住イベントの企画

よさこいを愛する人たちの「高知市に住みたい」という気持ちを、まちを挙げて応援する「よさこい移住プロジェクト」を推進。令和7年度は市内・県外でのよさこい移住交流会を企画し、おきやくへの来県やよさこい留学に繋がった。

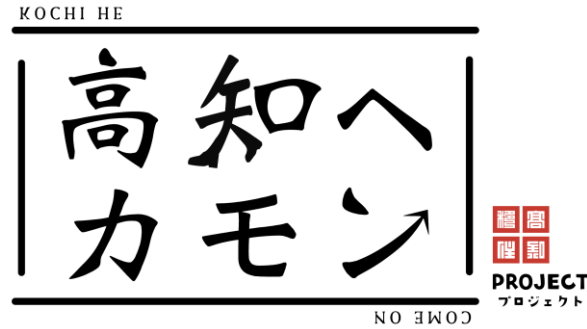


高知市での交流会(令和7年10月18日)



大阪市での「よさこいファンミーティング」(令和8年2月7日)

## 移住・定住プロモーション『高知へカモンプロジェクト』の企画



本市への移住・定住をさらに促進していくため、新たに高知市で暮らすことを決めた転入者を高知市全体で歓迎することを目的として、令和7年10月1日からウェルカムギフト（トートバッグ・提灯）をプレゼントする『高知へカモンプロジェクト』を企画し、実施中。

### ●移住紋とは

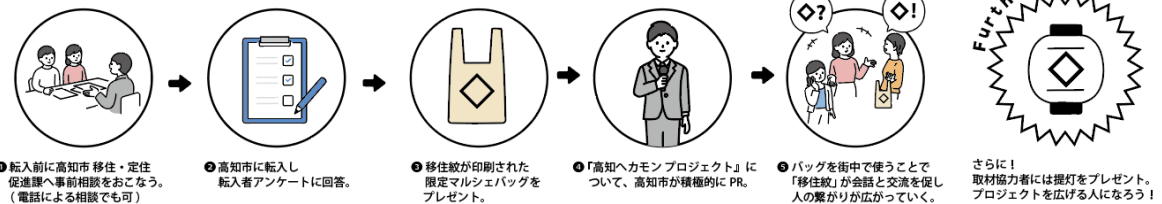


新たに高知市で暮らす移住者を歓迎し、地域とのコミュニケーションを促すシンボルマーク。

「高知市への移住者を歓迎しておもてなしをしたい」そんな想いを込めて、高知市から移住者の皆さまに対してお渡ししている共通の紋が『移住紋』。移住者だけが所有でき、自身が移住者であることを伝えるシンボルマークをきっかけに、移住者×地域、移住者×移住者の関係性を生み出していきたいと考えています。



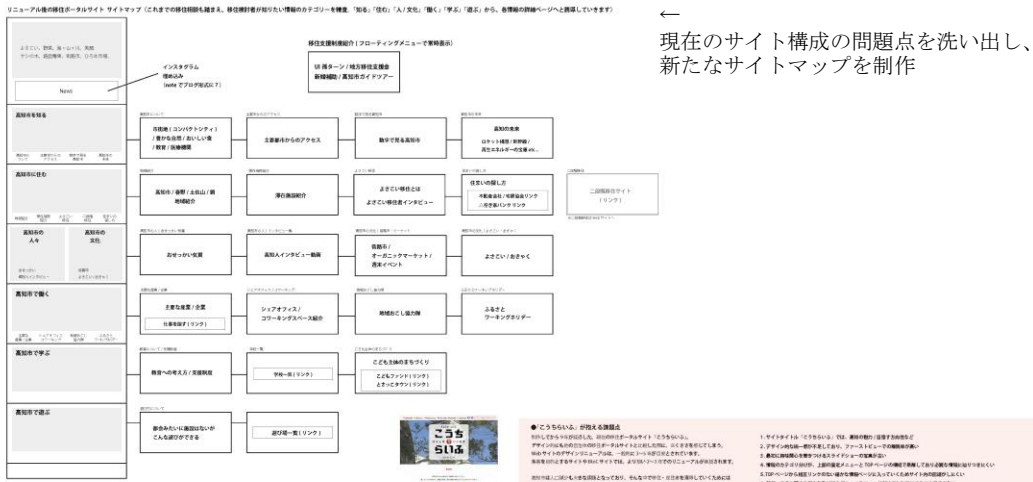
### ●ウェルカムギフトの受取方法等について



令和8年度の地域協力活動内容

①高知市移住特設サイト「こうちらいふ」のリニューアル

地域おこし協力隊員の活動の集大成として「こうちらいふ」のリニューアルを計画・実施します。自身も移住者として高知市で暮らした3年間で感じた「移住前に知りたいこと」「移住者に伝えておくべきこと」を整理して、サイト構成から見直しを図ります。また、現在のWebサイトが構築から年月が経っていることも踏まえて、他の自治体と比較して見劣りしない見栄え・視認性&ユーザビリティを検証し、作成します。



他自治体サイト等を研究し、高知市の魅力を伝えるにはどんなイメージがふさわしいかのデザインを検討中。実制作に向けて、作業を進行していきます。

②高知市移住者図鑑の取材強化&ブックレット発行

高知市に移住した人のリアルな声こそが、何よりも高知に移住を決断する役に立つ。その思いは、現在も変わりません。いろんなきっかけや想いで高知にやってきた移住者たちを取材・紹介する頻度を高めたいと考えています。

そして、紹介する最後の移住者を自分自身として3年間の協力隊員生活を振り返ろうと思います。



取材をしてきた移住者を一覧にまとめブックレットとして残します。移住フェア等で配布し、移住への関心増に寄与します。(※画像はイメージです)



← 最後1年の活動を経てどんな笑顔をすることができるのか楽しみです

③任期終了後に向けた生業確保への動き

高知市の地域おこし協力隊に応募したのは、興味があった地域づくり・地域活性化への実務経験を積むことが大きな目的でした。これまで企業のブランディングや広告活動を主たる業務としていましたが、この3年間の知識・経験を活かして地域活性化業を大きな生業としていきます。

着任前からsen、se(株式会社センテンス)として営んできた企画制作業のスキルやノウハウと、地域おこし協力隊員の3年間で培った実務経験を掛け合わせて

- ①高知市をはじめその他地域の地域づくり・活性化
  - ②高知市職員/高知県職員へのクリエイティブ支援
- といった取り組みを新たな主力業務にしていきたい。

